

令和6年3月12日

足立区立六月中学校  
校長 宮下みどり殿

六月中学校 学校運営協議会  
開かれた学校づくり協議会  
会長 芦川一男

## 令和5年度 学校関係者評価書

はじめに

令和5年に入ってからコロナ感染も少し落ち着いてきた。着任2年目の宮下校長はじめ全スタッフが学校行事を工夫するなどして、学校生活に活性化と明るさを戻した1年であった。

### 重点取り組み事項（1）学力向上アクションプラン

#### （ア）先生方による授業力の向上による学力向上

先生方が授業力向上のさまざまな研修、研究会に参加した。その結果が授業を楽しく受けられて理解できていると答えている生徒の数が90%という数字になって表れた。

「AIドリル」が積極的に授業でも取り入れられて、授業力の向上に結び付いた。授業内容が理解できて楽しく受講できることが生徒にとって最も大事なことである。このことは大いに評価されてよい。また読解力を付けるために毎朝10分間の朝読書の制度化により、読む力が強化されており、これからの展開が楽しみである

#### （イ）ICT 機器の活用

タブレットが全生徒に配布されて3年目の年となった。生徒たちもタブレットを学習の向上のために徐々に使い慣れてきていることを注目したい。「AIドリル」もまだ2年目でいろいろ試行錯誤が続くと思うが、3年目を迎える今年度は特に教える先生方の熟達と生徒への指導をお願いしたい。

#### （ウ）家庭学習の充実

今年度も放課後補習、サマースクール、学習コンテストなど実施してきた。家庭学習は各学年を通して生徒は80%が、保護者は65%が習慣化できていると答えているが、家庭での学習の習慣化こそ大事な核であり今後も生徒にご指導いただきたいと願う。

「家庭学習ノート」が本校で導入されてから効果を上げてきた。昨年度から「生徒のやりとり帳」が取り入れられ、さらに「AIドリル」がフルに活用されてきたので、今後の成果にどのように

結びつくか注視していきたい。

### 重点取り組み事項（2）キャリア教育の推進

近年キャリア教育の重要性が注目されているが、足立区では小学生全員に「夢デザインシート」が配られ、それは中学校でも受け継がれている。生徒本人にとっても保護者にとっても、子供がどのような進路に進むかは大変関心の高い重要なテーマであるが、生徒や保護者の約3割が具体的なイメージをもっていないと言われている。このシートの導入により本人の夢の具体化が進むことを大いに期待したい

自分の夢を形にするためのコミュニケーション力の向上や、担任の先生だけでなく校長先生、開かれ委員の面接協力などを通じてきめ細かな施策を実行している。生徒が自分の将来を考えるヒントを多くの大人の助言を得ながら具体的に学んでいくことを願っている。

### 重点取り組み事項（3）心の教育の充実

#### （ア）各生徒の自尊感情や自己肯定感について

年2回実施のQU調査の結果が示されている。本校におけるアンケートでは目標数値は84.8%、また生徒と保護者の学校生活の満足度は9割と大変高い数字が出ている。生徒と先生の「やり取り帳」や、12月末の「エール週間」を通じて生徒とのコミュニケーションを深めていることは生徒の心の充実を刺激すると思われる。

#### （イ）いじめ問題

生徒や保護者のアンケートから見て生徒会や人権教育、ポスター掲示などの日頃の活動がしっかりと定着出来ている。いじめがないという回答が95%と高くなっており、近年この数字が安定していることがそのことを物語っている。SNSの適切な使い方の学習も行った。

#### （ウ）不登校生徒への対応

不登校・不登校生の数が全国で30万人と増えている。コロナによる自宅待機日が日常化したため、不登校生徒の増大に結びついたと推定されている。不登校生徒に対しての本校の長年の取り組みは修学支援委員会で生徒一人一人に対応した支援をきめ細かく行っているなどスタッフの努力が評価されている。

不登校生は競争することに抵抗感を持つ生徒が多いと言われているが、競争とうまく折り合いをつけていかないと社会では生きていくのも大変だということも本校で体験してほしい。これからも他の地域、他校事例を積極的に学んでその成果を生徒たちに示していただきたいと期待している。

以上